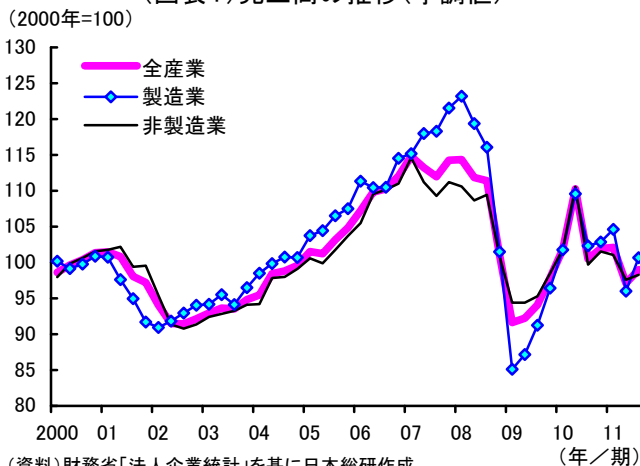


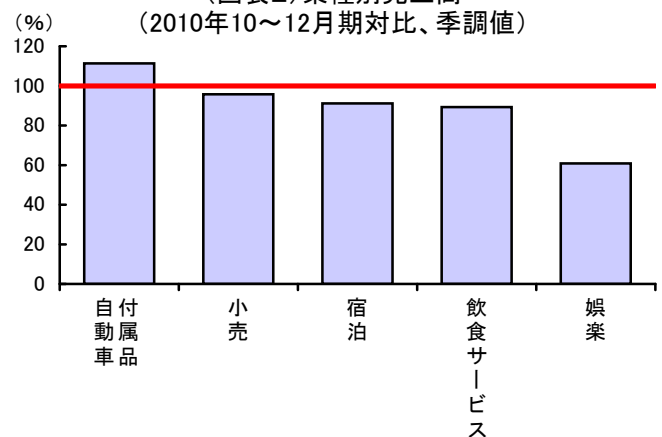
## 7～9月期法人企業統計の評価と2次QE予測

- (1) 2011年7～9月期の法人企業統計季報によると、売上高（全産業）は前期比+1.9%と2四半期ぶりのプラス（図表1）。業種別にみると、製造業は震災で被害を受けた工場の復旧などにより同+4.9%と比較的高い伸び。一方、非製造業は同+0.7%とわずかな増収にとどまっており、なかでも震災の影響を受けたとされる宿泊業、飲食サービス業、娯楽業などの業況回復は途半ば（図表2）。
- (2) 設備投資（ソフトウェアを除く）は、全産業で前期比▲2.7%と4四半期連続の減少（図表3）。震災からの復旧は進んでいるものの、海外経済の減速や円高を背景に、企業は積極的な設備投資には踏み出せず。業種別にみると、製造業は同+3.0%と増加に転じたものの、前期（同▲9.8%）の大幅な落ち込みからの回復は弱い状況。非製造業は同▲5.8%と5四半期連続の減少となり、低迷が持続。
- (3) 今般の法人企業統計等を織り込んで改定される7～9月期の実質GDP（2次QE）は、設備投資と公共投資がいずれも下方修正され、前期比年率+5.0%と1次QE（同+6.0%）から下方修正される見込み（図表4）。

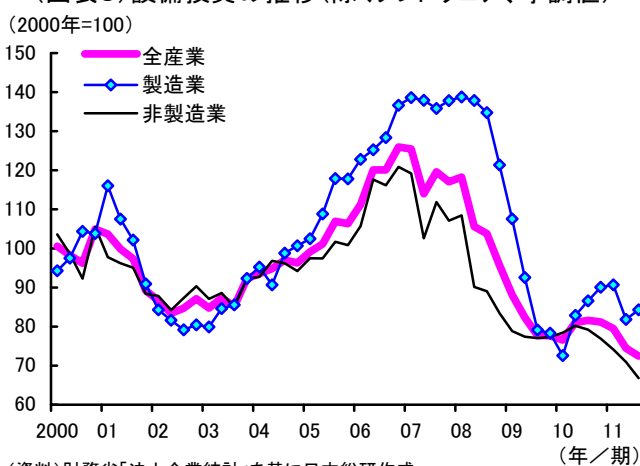
(図表1) 売上高の推移(季調値)



(図表2) 業種別売上高  
(2010年10～12月期対比、季調値)



(図表3) 設備投資の推移(除くソフトウェア、季調値)



(図表4) 2011年7～9月期GDP統計予測表  
(%, %ポイント)

	2次QE	
	前期比	前期比年率
実質GDP	1.2	5.0
内需 (寄与度)	( 0.8)	( 3.2)
民間 (寄与度)	( 0.8)	( 3.4)
個人消費	1.0	3.9
住宅投資	5.0	21.7
設備投資	▲ 0.2	▲ 0.9
民間在庫 (寄与度)	( 0.2)	( 0.7)
官公需 (寄与度)	(▲ 0.1)	(▲ 0.2)
政府消費	0.4	1.6
公共投資	▲ 3.8	▲ 14.5
公的在庫 (寄与度)	( 0.0)	( 0.0)
外需 (寄与度)	( 0.4)	( 1.7)
輸出	6.2	27.4
輸入	3.4	14.5
名目GDP <前年同期比>		▲ 2.2
GDPデフレーター <前年同期比>		▲ 1.9

(資料)内閣府などを基に日本総研作成